

2級課程カリキュラム(通信制)

教科名	時間	内 容	備 考
講義 58時間			
1 社会福祉の基本的な理念及び福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義(6時間)			
福祉理念とケアサービスの意義	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・QOLの向上、ノーマライゼーション自立支援等の各福祉分野に共通する主流理念 ・ケアサービスの意義 ・チームケアの必要性 <ul style="list-style-type: none"> ～継続的ケアと総合的ケア、地域福祉の視点、事例にみる連携と役割分担 	レポート提出による添削指導
サービス提供の基本視点	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間観 <ul style="list-style-type: none"> ～生活者としての援助対象の把握、生涯発達の見点、自己表現の見点等 ・他者理解と共感 ・自立支援 ・利用者の自己決定 	レポート提出による添削指導
2 高齢者保健福祉及び障害者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義(6時間)			
高齢者保健福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉の背景と動向 ・介護保険制度の概要とサービスの理解 ・高齢者保健福祉の制度とサービスの理解 ・医療・年金・生活保護制度・住宅施策等その他高齢者保健福祉に関連する制度、施策 ・サービス提供と人権擁護(成年後見制度と地域福祉権利擁護事業等)の理解 	レポート提出による添削指導
障害者(児)福祉の制度とサービス	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者(児)福祉の背景と動向 ・身体障害者(児)福祉の制度 ・知的障害者(児)福祉の制度 ・精神保健及び精神障害者福祉の制度 ・難病患者の福祉の制度 	レポート提出による添削指導
3 訪問介護に関する講義(5時間)			
訪問介護サービス概論	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービスの社会的役割 ・訪問介護サービスの制度と業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ～介護保険制度における運営基準等の理解 ・チームケアの理解 ・巡回型(24時間対応を含む)訪問介護サービスの理解 ・在宅介護センター等関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ～介護保険制度における居宅介護支援との連携 ・近隣・ボランティア等との連携 ・関連職種の基本知識 	レポート提出による添削指導
訪問介護員の職業倫理	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護サービス業務においてとるべき基本的態度 ・福祉業務従事者としての倫理 ・サービス提供における利用者の人権の尊重、プライバシーの保護等(事例を用いて理解を深めることが望ましい) ・サービス提供と人権擁護 	レポート提出による添削指導

		(成年後見制度と地域福祉権利擁護事業等)	
4 高齢者及び障害者の疾病、障害等に関する講義(14時間)			
障害・疾病の理解	8時間	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による老化 ・認知症 ・脳卒中後遺症 (肢体不自由、失語症 等) ・精神障害(精神分裂病を中心として) ・脳性麻痺、脊椎損傷等による肢体不自由 ・知的障害、自閉症、ダウン症 ・てんかん ・視覚障害、聴覚障害 ・心機能障害等の内部障害 ・高血圧、糖尿病 ・介護保険制度における特定疾病の概要 	レポート提出による添削指導
高齢者、障害者(児)の心理	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者(児)の生活・行動と心理 ・高齢者、障害者(児)の人間関係 ・高齢者、障害者(児)とのコミュニケーション ・生き生きとした生活に向けての心理的援助の実際 	レポート提出による添削指導
高齢者、障害者(児)等の家族の理解	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、世帯等の定義と内部構造 ・高齢者、障害者(児)の家族のストレス ・家族に対するアセスメントの方法 ・家族とのコミュニケーションと援助 ・母子、父子家庭の理解 	レポート提出による添削指導
5 介護技術に関する講義(11時間)			
介護概論(3時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・介護の目的、機能と基本原則 ・介護ニーズと基本的対応 ・在宅介護におけるリハビリテーションの視点 ・リハビリテーション介護とは ・ターミナルケアの考え方 ・介護者の健康管理 	レポート提出による添削指導
介護事例検討(4時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護の特徴と留意点 ～一人暮らしの高齢者、寝たきりの高齢者、痴呆性高齢者、骨折等への注意、高齢者と性等 ・障害者介護の特徴と留意点 ～進行性障害への配慮、障害者夫婦への援助、知的障害者への対応、精神障害者への対応、視覚・聴覚障害者への対応 等 ・障害児介護の特徴と留意点 ～思春期の特徴と対応、家族への対応 自傷・他害への対応 等 	レポート提出による添削指導
住宅・福祉用具に関する知識(4時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・生活行動と生活空間 ・在宅介護における住宅の役割と機能 ・快適な室内環境 ・防災等の安全管理 ・住宅改造のポイントと事例 ・福祉用具の役割と利用に関する知識 	レポート提出による添削指導

		<ul style="list-style-type: none"> ・主な福祉用具の種類と機能・使用法に関する知識 ・介護保険制度上の福祉用具貸与・購入費、住宅改修費の概要 	
6 家事援助の方法に関する講義（4時間）			
家事援助の方法 （4時間）		<ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の目的、機能と基本原則 ・家事援助の方法 ・家事援助における自立支援 ・高齢者、障害者（児）と栄養、食生活のあり方 ・調理方法の基本的な理解 ・高齢者、障害者（児）への調理技術（味付け、きざみ食等） ・糖尿病、高脂血症等に対する特別食 ・食品の保存、管理 ・ゴミの始末、調理器具、食器等の衛生管理 ・高齢者、障害者（児）と被服 ・快適な室内環境と安全管理 	レポート提出による添削指導
7 相談援助に関する講義（4時間）			
相談援助とケア計画の方法 （4時間）		<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントの視点と方法 ・介護保険制度における居宅介護支援の理解 ・相談援助の目的、機能と基本原則 ・情報収集とニーズの発見 ・業務におけるケア計画の方法 ～目標の設定、計画の作成 ・援助内容の見直しの視点と手続き 	レポート提出による添削指導
8 医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義（8時間）			
医学の基礎知識 （3時間）		<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な病気の基礎知識と予防・対処方法 ～風邪、発熱、腹痛、火傷、骨折、食中毒等（バイタルサインの発見方法を含む） ・感染症の理解と予防 ～MRSA、B型肝炎、疥癬、梅毒等 ・医療関係制度の基礎知識 	レポート提出による添削指導
在宅看護の基礎知識 （3時間）		<ul style="list-style-type: none"> ・身体の観察 ～観察の視点、体温測定、血圧測定等 ・薬の飲ませ方と保管 ・特別な処置 ～吸引、吸入、浣腸、排便等 	レポート提出による添削指導
リハビリテーション医療の基礎知識 （2時間）		<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション医療と意義と役割 ・リハビリテーション医療の概要 ～理学療法、作業療法、言語療法等 ・訪問リハビリテーションのスタッフとの連携の進め方 ・リハビリテーション介護とは 	レポート提出による添削指導

演習 42時間			
(ロールプレイ等については見学のみで修了することがないこと)			
1 福祉サービスを提供する際の基本的な知識に関する演習(4時間)			
教科名	時間	内 容	備 考
共感的理解と基本的態度の形成 (4時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問・退出時の挨拶 ・傾聴的態度、信頼関係の形成 ・物の処分、移動における言葉かけ ・銀行入金代行業務や買物業務時の注意点(レシートの取得等) ・できないことの拒否の仕方 ・助言の仕方 ・認知性高齢者等とのコミュニケーション ・視覚・聴覚障害者とのコミュニケーション 	スクーリング
2 介護技術に関する演習(30時間)			
基本介護技術 (30時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・障害に応じた食事の介護 ・糖尿病、高脂血症等に対応する特別食 ・排泄、尿失禁の介護 ・衣服着脱の介護 ・入浴の介護 ・体位・姿勢変換の介護(坐位保持、褥瘡への対応を含む) ・肢体不自由者の歩行の介護 ・車いすへの移乗等の介護 ・車いす等での移動の介護 ・視覚障害者の歩行の介護 ・ベッドメイキングの方法 ・身体の清潔(清拭、洗髪、口腔ケア等)の方法 ・緊急時対応法(骨折、火傷、てんかん発作、化学物質による中毒、誤嚥による窒息等) ～可能な限り実践的な講習とする ・腰痛の予防等援助者の健康管理 	スクーリング
3 訪問介護計画の作成等に関する演習(5時間)			
訪問介護計画の作成と記録報告の技術 (5時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイ、VTR等により情報が提供された事例に対して以下の項目を学習する ・業務のための情報収集とアセスメント ・訪問介護員としてのサービス提供目標の設定と訪問介護計画の作成 ・記録の書き方 ・サービス提供責任者への報告・相談の仕方(カンファレンスでの報告の仕方を含む) ・事例報告のまとめ方 	スクーリング
4 レクリエーションに関する演習(3時間)			
レクリエーション体験学習 (3時間)		<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの視点とプログラム ・高齢者、障害者(児)を対象とするレクリエーションの体験学習 	スクーリング

実習 30時間 (実習に先立ち、オリエンテーションを実施のこと)			
1 介護実習(24時間)			
教科名	時間	内 容	備 考
介護実習	16時間	・認知症高齢者グループホームにおける介護実習	グループホーム北アルプスの家 実習施設・事業所一覧表を参照
	16時間	・デイサービスにおける介護実習	ほっとハウスかたつむりの家 実習施設・事業所一覧表を参照
訪問介護サービス同行訪問	8時間	・訪問介護サービス同行訪問による業務実習	ヘルパーステーション ららの風 実習施設・事業所一覧表を参照